

2023年7月19日

告示

1 トランス男子におけるプロテスト受験（男子プロテスト）の可否について

2 諮問内容

- (1) トランス男子に係る一般化したルールの策定について
- (2) 真道ゴー選手のプロテスト受験の可否について

3 答申内容

- (1) トランス男子一般にまで一般化したルールの策定は時期尚早である。
理由 一般化したルールの策定に向けての経験とデータを蓄積する必要がある。
今後はそのための試験的・段階的な検討を続けていくべきである。
- (2) 真道ゴー選手のプロテスト受験資格をテストケースとして認めることは十分可能である。
理由 真道ゴー選手は各種検査（体力測定を含む）の結果並びにこれまでのプロボクシングの経験、実績に鑑み、安全性を考慮した医学的見地からテストケースとして可能である。

4 JBC の結論

- (1) 現状プロテストの受験を認めることは困難である。
理由 答申内容は尊重するが、打撃を加えることを勝敗の手段として存在するボクシングの特性から、選手の安全管理を最優先に考えなければならない。この見地から、また、世界でのボクシング界の動向に鑑みテスト受験に関してはより慎重に決すべきとした。
- (2) 公式試合場におけるスパーリング（準公式試合）を認める。
理由 一定の条件を満たすトランス男子に準公式試合の出場を認め、安全性、競技性などの各種データの蓄積を行い、近い将来トランス男子にプロテスト受験資格（要件、手続等）を認めることの検討材料としていく。
- (3) (2)を認めるためのトランス男子の条件
 - ア JBC が指定する方法による各種体力測定
 - イ JBC が認めた女子ボクサーとしての実績
 - ウ その他

以上